

# 母塾

VOI.43

Illustrations by Kurumi

『メガネを新しくしよう』 2020. 10. 12

未就園児遊びの会 アドバイザー いのはなはるこ

子どもはママの「期待」通りになっています。

「もっと落ち着いた子になって欲しい」

「もっと優しい子になって欲しい」

「〇〇になって欲しい」ということは「〇〇になっていない」状態を見つけているということです。

子どもはちゃんと「〇〇になっていない」子としてママの目に映り続けます。

「集中力がない子だな」「乱暴な子だな」

「〇〇の子」ということは、ママがはっきりと認識していることです。

子どもは無意識に親の「期待」に応えよう、応えなければいけないと考えます。

ママの「期待」に応えて、きちんとママの目にそう映るようにしてくれます。

そして私たちは「ほらね！」と自分の期待通りのことに納得します。

私も6人の子どもに6個の眼鏡を持っています。

「この子はだらしがないな」

そう思っているときちんと洗濯物を裏返しにして投げてあります。

「本当にそうかな？」 子どもは毎日変わっています。

自分のその子に掛けている眼鏡を外してみることで。

眼鏡を新しくして、曇りをふくと。今日の新しいその子が見えます。

あら、この子、もうこんなことができるようになっていたんだ。

「ほらね！」ではなく、毎日変わる子どもの姿に驚きたいです。

